iTHEMS RIKEN interdisciplinary Theoretical & Mathematical Sciences　数理創造プログラム　特別講演会

「日本書紀」区分論

例外を直視すれば深層が見える

8月24日木
15:00-17:30

理化学研究所　和光キャンパス
大河内記念ホール

TV 中継：理化学研究所 計算科学研究機構（神戸）6 階講堂

「日本書紀」（720 年撰）は漢文で書かれている。その音韻や文法を分析して、渡来中国人が著した巻々と日本人が書き継いだ巻々の混在が浮き彫りになり、成立過程が明らかになった。その書紀成立の真相に迫った森博達教授による特別講演です。

お問い合わせ先：理化学研究所 数理創造プログラム（iTHEMS）<ithems@riken.jp>

数理と古代史の出会い

講演者紹介

森博達　もり ひろみち

京都産業大学外国語学部アジア言語学科教授。1949 年兵庫県生まれ。大阪外国語大学中国語学科卒。名古屋大学大学院文学研究科（中国文学専攻）博士課程中退。愛知大学講師、同志社大学助教授、大阪外国語大学助教授を経て現在に至る。高麗大学校・釜山大学校の客員研究員も歴任。専攻は東アジア語文交渉史。「魏志倭人伝」や「日本書紀」の文献学的研究を行ってきた。著書に「古代の音韻と日本書紀の成立」（大修館書店、金田一京助賞受賞）、「日本書紀の謎を解く」（中公新書、毎日出版文化賞受賞）、「日本書紀成立の真実」（中央公論新社）などがある。

背景画像：『(岩崎本) 日本書紀』巻二四「皇極紀」（京都国立博物館蔵）